

令和2年度 第1回SDGs推進本部

日時 令和2年11月9日（月） 10時45分～11時15分

場所 富田林市役所3階 庁議室

- 案件 (1) SDGs推進本部について
(2) SDGs未来都市計画の取組について
(3) その他

1. 開 会

吉村市長

SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業の選定は、市制施行70周年に関わって、非常に大きな意義のあるものだと思っており、ある意味では、富田林の品格のようなものを形作ることだと思う。そういう意味でも、2030年に向けてあるべき富田林の姿、理想の姿を描いていければ良いと思っています。

「いのち輝く“まちまるごと”健康プロジェクト」と銘打ったモデル事業は、本市と大阪大谷大学、富田林医師会、アルケア㈱の4者連携「TOMAS」で健康プロジェクトということで推進しますが、「商助」による持続可能なエコシステム構築事業、「学生派遣による実学経験事業」、「健康・環境×SDGs普及啓発事業」という大きな3本柱の事業を通して、まちづくりの担い手となる市民の皆さまが健康になって、「こんな風に生きていきたい」、「あんな風に生きていきたい」と思えるような事業に、市と民間の連携でやっていきたいと考えています。

SDGsは「この事業がSDGs」というよりも、市がやっているいろいろな事業や施策を全てSDGsに紐づけ、SDGsの観点で見直し、充実させていくが大事だと思いますし、まずは庁内の機運醸成、そして市民の皆さんへの機運醸成なども図っていかねばならないと考えています。

2. 議 事

案件(1) SDGs推進本部について

事務局

資料1-1～1-2に基づき説明

案件(2) SDGs未来都市計画の取組について

事務局

資料2に基づき説明

委員

「商助」による持続可能なエコシステム構築事業に関して、今年度のモデル地区3箇所はどこか決まっているか。

事務局

梅の里地域、大伴地域、金剛地域で進める予定です。

委員

この資料は、SDGs未来都市推進プロジェクトチーム（以下「PT」）中心で取りまとめたと思うが、未来都市に基づく取組の庁内での情報共有はどのようにしていく予定か。

事務局

SDGs推進本部の内容についてはオープンにしていきたいと考えていた。庁内についてもサイボウズ等を通じて情報共有します。

委員

今後のマルチパートナーシップの取組に関して、いろいろと紐づけしながら連携していくということだと思うが、連携の相手方というのは、PTで整理するのか、担当部局で考えていくのか、どのようなイメージか。

事務局

本市SDGs未来都市計画の中に位置付けているものについては、PTで把握をしていく予定。その他、全体的な部分については、都市魅力課もPTの構成となっていますので、全体の情報も共有して進めていきます。

案件（3）その他

委員

庁内の機運醸成、市内全体の機運醸成という点について、具体的な予定はどうか。

事務局

現在、広報とんだばやしにおいて、SDGsに関する情報を毎月掲載し、普及啓発に努めている。また、SDGs未来都市・富田林のロゴマークを作成中のため、準備出来次第、ロゴマークを活用した広報物の制作を進めます。また、市のウェブサイトについても改善する予定です。

3. 閉 会